

港北区災害ボランティア連絡会 News



事務局 〒222-0032 横浜市港北区大豆戸13-1吉田ビル206 港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

FB 港北区災害ボランティア連絡会

115号

2023年4月

* 入会は随時受け付けています。

* あなたの町の防災度を高めるためにお力を貸してください。



すべての人が救われるために

定例会で「ひとりも取り残さないために～インクルーシブ防災～」のビデオを見ています。同志社大学の立木先生が監修したものです。障害者や高齢者は「災害弱者」とも呼ばれていたように、以前から避難行動や避難生活での困難が指摘されていました。それは現在もあまり変化していません。避難に伴う困難や日本の避難所が抱える構造的な問題を解決しないとイケません。

災害時避難行動要支援者の名簿を作ることが義務化されていますが、なかなか進行していないこと、発災時には具体的にだれがサポートに行けるのか不明など、現実的に展開するには様々な問題があります。ビデオでは別府市での事例をもとに要支援者への対応の具体的な方法について学びました。

私たちの会にも聴覚障害の当事者や手話通訳の会が会員となっています。しかし、世の中には他にもいろいろな困難を抱えている人が大勢います。そのためには

1、まずはいろいろな人と知りあおう

知的障害者、車椅子ユーザ、医療的ケアが必要な人、などは地域に暮らしてはいるもののあまり私たちと知り合う機会がないのが現実です。そこからどのように対応したら良いか分からないという問題が出てきます。まずは当事者も私たちも積極的に知り合う機会を作らなければいけません。



北伊豆地震
1930年



熊本地震
被災地障害者センターくまもと
のメンバー

2、避難所の環境を変えよう

日本の避難所は関東大震災から100年たっても体育館でのごろ寝スタイルが全く変わっていません。災害対応を充実するためには予算が必要です。災害大国である日本としては、まず国民の生活を守るための防災対策への予算の充実が求められます。(宇田川)

写真: 特定非営利法人ゆめ風基金提供

避難者カードはDXに・・・ 人にしか出来ない災害支援に注力を！

◆避難者カードの現状運用

災害が起きた時、避難所に行く『紙』の「避難所カード」を記載しますが、これを区役所職員が『手入力する』って知っていましたか？

一方、コロナ禍で、コロナ感染者登録が遅れたために、感染者への支援が遅れたことは記憶に新しいことと思います。では、なぜ登録に時間がかかるのでしょうか？ 手書きの文字を打ち込むのは、想像以上に時間がかかります。特に個人の名前は分かりづらく、入力しづらいからです。かつ、コロナ感染時も災害時も、記載する方は平時と異なり、雑に記載しがちです。

いち早く支援をするために、コロナ禍では各自がスマホで登録する対策が行われました。災害時も各自がスマホで入力することで、いち早く避難所の人数を把握でき、素早く物資を渡すことができます。

◆大豆戸小地域防災拠点:避難者カードDX化始動

そこで、2022年11月大豆戸小地域防災拠点では、避難訓練時にスマホで入力する取り組みを行いました。ご年配の方で入力できない方には、入力お助け隊として中高生のスマホ世代に代わりに入力してもらいます。もちろん嫌な人には紙運用も残しますが、それでも区役所の職員の方々が入力する手間は格段に削減され、そのことにより罹災証明書の発行や仮設住宅建設等、区役所の職員にしかできないことに、より早く着手してもらえらると思います。

避難訓練の結果、①個人情報登録するには有償の保管場所が必要、②入力の簡素化(郵便番号を入れると住所が表示等)、③決まったセルに決まった値が入るようにする(電話番号に名前が入らない等々)との意見が出て、現在、Kintone(サイボウズ株)、FormBridge(トヨクモ株)を使って、①～③が満たされるようなデモ環境を、大豆戸小学校のメンバーで構築しました。

◆他の地域防災拠点へのお誘い

大豆戸小学校地域防災拠点だけでなく、港北区の希望する他の拠点でもご検討頂きたく、現在、デモ環境を公開中です。良かったら覗いてみてください。



<https://98c2fd93.form.kintoneapp.com/public/1fefb2c76adc00c49788b258f16f7f14dd880be247677e977d91c2a784388f54>

- 公開期間:2023/4/30まで・デモ環境のため、適宜修正が行われます。
- 予告なく、利用できない時間や公開期間の短縮する場合があります。
- テスト登録も可能ですが、実データではなく「港北 太郎」等、架空のデータでご入力ください。

サイボウズ社 Kintone 30日無料貸出:<https://kintone.cybozu.co.jp/trial/>

避難者カード(兼 安否確認票)		No.	
		学校地域防災拠点	
※みなさまの安否情報の問い合わせについて、ご希望の番号にチェックをつけてください。 <input type="checkbox"/> 1 下部の情報を公表しないでください。 <input type="checkbox"/> 2 下部の情報を公表しても結構です。(インターネットでも結構です。) <input type="checkbox"/> 3 一部の項目だけ提供しても結構です。 <small>(印刷できない項目はチェックが受け付けていない。インターネット検索時、チェックした項目のみ表示されます。)</small> < 住所(区町名まで) <input type="checkbox"/> 性別 <input type="checkbox"/> 年齢 <input type="checkbox"/> 身体状況 <input type="checkbox"/> 所在場所 > ※問い合わせには、本人が特定できた場合のみお答えします。			
※1登録時1体記入(登録の別かた項目は、必ず記入してください。)			
避難した日時	年 月 日	確認者	
退去した日時	年 月 日		
避難生活区画	<input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 教室(階 室 組用) <input type="checkbox"/>		
住 居	区 町 丁目 番 号		
関係家族全員を記入してください。			
氏名	性別	年齢	
身体的状況	所在場所	備 考	
災害活動に関する 特技・資格など		電話(携帯)番号 <small>(インターネット検索用)</small>	
男	<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害が軽いです <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する --
女	<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害が軽いです <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する --
男	<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害が軽いです <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する --
女	<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害が軽いです <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する --
男	<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害が軽いです <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する --
女	<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害が軽いです <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する --
※電話番号及び携帯番号は検索用にてのみ利用し公表はしません。 ※本票類は、災害時のみの利用とし、災害対策本部の廃止後に廃棄します。			

トヨクモ社 FormBridge 30日間無料貸出:<https://fb.kintoneapp.com/trial.html>

※ただし、構築は自分達で実施する必要があります。

『改善のご提案』がございましたら、以下にご記載ください。標準機能だけで実装し、特別な開発はしないため、すべてのご要望に応えられるわけではありません。(まだスタートしたばかりの、かつボランティアでの改善活動ですので、誹謗中傷の類の記載はご容赦ください。)

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdBdQP5JjQ4w66QzIli8y0WP-3G1M7CdR33HLF5iSOU70dDHw/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0>



災害対策もDX、システムが出来ることはシステムにさせ、人は人にしかできない支援に注力しましょう！！

(大豆戸小地域防災拠点 運営委員 情報班 塚越)

ここにも ICT かなチャンTV 知っていますか



1 はじめに

神奈川県や横浜市、港北区の広報紙を読んで、防災に関する知識を蓄えている方も多いかと思います。神奈川県は、公式YouTubeチャンネルを開設して、情報発信しています。それが『かなチャンTV』です。

2 『かなチャンTV』の内容

神奈川県公式YouTubeということで、県知事の定例会見中継やメッセージ、コロナ禍への対応に加えて、被災時の手話での案内を掲載しています。

3 緊急地震速報が鳴っても

聴力でお手伝いが必要な方には、緊急地震速報が鳴っても伝わりません。逃げられないのではなく、逃げないのです。では、側にいる時にどうするのか、簡単な手話を使って伝える方法を紹介しています。

手話がわからないからと言って、手を引っ張って逃げるように伝えても、かえって慌ててしまいます。『かなチャンTV』では、「警報」「地震」「津波」の手話を説明しています。

4 簡単な手話を動画で説明

『かなチャンTV』では、この他にも、避難所で必要になる、食糧などの手話も紹介しています。

手話は、本を読んでも、なかなか覚えられないものですが、『かなチャンTV』は、神奈川県公式YouTubeで情報源としても確かであり、ぜひ活用していただきたいです。
(岩撫)

イラストは、イラストAC(<https://www.ac-illustr.com>)より使用許諾を得て掲載しています。筆者に無断で転載する事は著作権侵害となり、重罰が課せられます。イラストは、イラストACに会員登録してからダウンロードしてください。

トルコ・シリア大地震支援募金

～ボーイスカウト横浜第8団～

ボーイスカウト第8団カブ隊は、2023年3月26日(日)に、新横浜駅前でトルコ・シリア大地震支援募金を行いました。ボーイスカウト第8団では、2023年4月9日(日)に3回目のウクライナ人道支援募金を予定していますが、2人のカブスカウト(小学校三年生～五年生のスカウト)の提案で急遽3月26日に活動を追加しました。

当日は冷たい雨が降る寒い日でしたが、午前(10時～11時30分)と午後(12時30分～14時)の2回にわたって、カブスカウト9名と指導者7名・保護者3名の合計19名が参加し、募金活動を行いました。集まった募金総額は、46,596円でした。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。



参加したスカウトの感想

- ・とても寒かったけど、たくさん募金してくれてうれしかった。
- ・色々な人に募金してもらえた。
- ・自分達も募金できて良かった。

ボーイスカウト横浜第8団・中島

防災コラム 「防災ボランティア事始め」

災害時におけるボランティア活動は100年前の関東大震災のときにも見られました。その後の災害発生時にも学生や青年団、僧侶などが救援活動に参加した記録があります。近年では1990年から始まった雲仙普賢岳噴火や1993年の北海道南西沖地震でも多くの人の関心を引き参加者も増えていきました。

ボランティア元年と呼ばれた阪神淡路大震災で活動した人たちが各地でグループ化をはじめ、日本の防災ボランティア団体が生まれていきました。それを後押しするように1995年に改定された国の防災基本計画には「防災ボランティア活動の環境整備」「ボランティアの受け入れ」の項目が入りました。

神奈川県民活動サポートセンターはそれを受け県が整備したボランティア活動支援施設です。
(宇田川)

【編集後記】

- ・「出来ることを」で参加した災ボラですが、今は「命を守る」をしてから何ができるのかな？という年齢になってきます。(付岡)
- ・新年度、防災への心構えを新たにしましょう(岩撫)
- ・阪神淡路大震災での被災家族を描いた児童向けノンフィクション『にいちゃんのランドセル』を読みました。TVドラマにもなったそうです。大人の方も是非ご一読ください。(室伏)
- ・アメリカで竜巻による大きな被害が出ているようです。毎年、巨大化する台風や温暖化による異常気象が発生している日本においても注意する必要がある事案かも知れません。(鴨下)
- ・4月9日にボーイスカウト横浜第8団として3回目のウクライナ人道支援募金を行いました。災害や悲劇を「忘れない」努力が必要です。(中島)